

JJA佐渡米生産者大会

限りある用水を有効活用し気象変動に負けない佐渡米生産

大会では、県内産、佐渡米の販売情勢や、異常気象に対応した新潟米の対応について説明がされました。

講演

土づくりにより
用水利用を高める
コメづくり

【講師】

秋田県立大学名誉教授
金田 吉弘 様



おいしい佐渡米コンテスト表彰式



最優秀賞

たんげ たかはる
丹下 高晴 様

優秀賞

なかはま のりかず
中濱 憲一 様
まくち かつひこ
菊地 勝彦 様

水稲情報 mini

秋耕出来ずワラやヒコバエが多いと田植え後還元が強まりワキが出て、よい茎になりません。追肥や今までの肥培管理ではもう異常気象に対応はできません。令和7年は**【モデルチェンジ！スタートダッシュで良い茎確保】**し登熟を充実させましょう！

ある日……



2/22の生産者大会では、役に立つ話が聞けたのう、某社の農業占いではどうも**令和7年も不作**だという

異常気象が続く中で良く観察すること！
異変を感知して少しでも**早く改善策を打つ**事が大切！って言ってたなあ！



令和7年も、気象変動が激しく、夏は**猛暑**の予報となっています。
時期別に「異常年への対応『かんどころ』」をまとめてみました！

耕起・代かき	種子余措・育苗	田植え	水管理他、留意点
<ol style="list-style-type: none"> まず漏水(後遺症)の解消やヒコバエ対策からスタート。コンバイン走行凸凹は修正。 排水溝を設置するなどして田んぼ表面水の排水に努める。 秋耕出来なかった田んぼは「アグリ革命」散布し、30日後耕起。 浅水代掻きを行い、ワラを埋め込む、用水節約。 浮遊した残渣は処分する。 	<ol style="list-style-type: none"> 浸種始めの1日は12℃に保ち、その後は水の更新をしながら積算温度100℃を目安に浸種行程を行う。こまめに芽の動きをチェック。 今年の春も温かい予想。苗の伸ばしすぎは要注意！デジタル温度計の活用を！ 佐渡は田植え時本土より過酷な条件{乾いた空気・強い風・気温が低い}なので「硬化」でしっかり外気に慣らしてから。 	<ol style="list-style-type: none"> 佐渡の過酷な気象の中で、最適な田植日を選ぶ。 苗の生育をみて、臨機応変に田植日を変えて最適条件で植える。 田植を5m進めたら、植付け深さ・欠株・姿勢を確認。 	<ol style="list-style-type: none"> 雪消えが早く、代掻き時から以降の用水不足が懸念！！地域での番水ルール確認、話し合いを事前に行いましょう。 「アグリ革命」でワラ等分解を進めてもワキの症状がでたら即、落水・夜干しを実施。 田植え後に再度、畦畔の水漏れ確認。
<p>モグラネズミ穴は踏付けて塞ぐ</p>	<p>ヒコバエ対策をしよう!!! 低温下で耕起までに時間がない場合は酵素剤の「アグリ革命」!</p>	<p>アグリ革命(粒状タイプ)の場合</p> <p>10aに2kg /1袋ぶんの酵素量が行き届けばOK。 「粒」がワラに付着するよう雨降り後や朝露があるときにBEST! 動力散布機でラクラク散布。</p> <p>10aに対して本製品を1袋(2kg)散布します。</p>	<p>アグリ革命アクア(液状タイプ)の場合</p> <p>10aに100ml /1本ぶんの酵素量が行き届けばOK。 100倍~5000倍まで希釈可能! 散布方式で希釈倍率選択可能です。 動力噴霧機はもちろん、ブームスプレーヤーやドローン散布も可能です。</p> <p>10aにアグリ革命アクア1本(100ml)を100~500倍(目安)の水で希釈し、散布してください。</p>